

2016年3月期 決算説明会

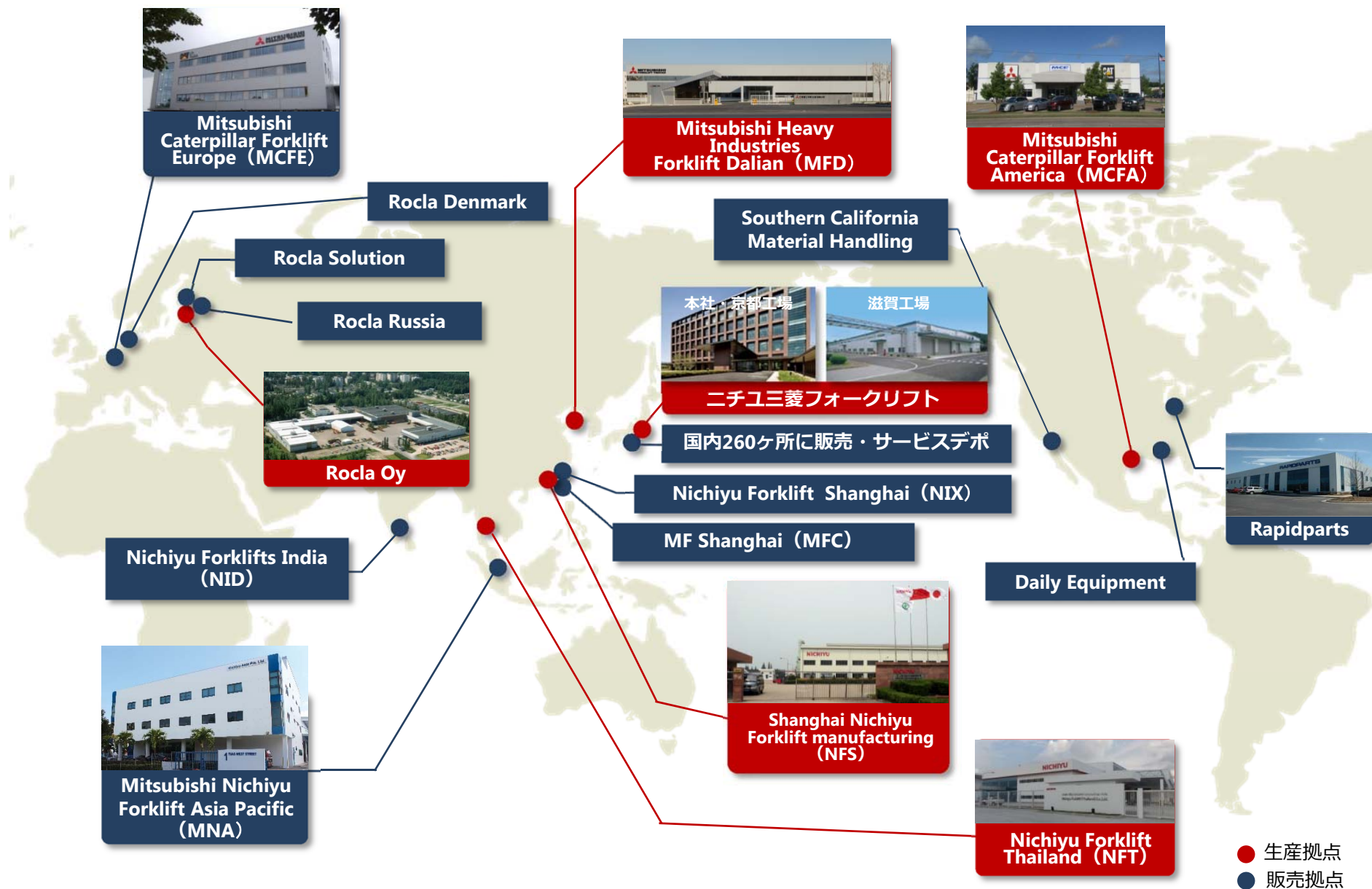
2016年6月2日

ニチュ三菱フォークリフト株式会社

会社概要

商 号	ニチユ三菱フォークリフト株式会社 (英文名 : Mitsubishi Nichiyu Forklift Co.,Ltd.)
本社所在地	京都府長岡京市東神足2丁目1番1号
設 立	1937 (昭和12) 年8月
資 本 金	48億90百万円 (2016年3月31日現在)
事 業 内 容	バッテリーフォークリフト、エンジンフォークリフト、搬送用ロボット、自動倉庫、WMS※ 等の物流システム商品等の開発・設計・製造・販売 ※ WMS : ウェアハウスマネジメントシステム
事 業 所	【国 内】京都・滋賀 【海 外】米国 Houston,TX (テキサス州) Peral,MS (ミシシッピー州) Grand Rapids,MI (ミシガン州) PicoRivera,CA (カリフォルニア州) 欧州 オランダ・フィンランド 中国 大連・上海 アジア タイ・シンガポール 等
年間生産能力	約 75,000台
連結従業員数	約 5,500名

主な生産・販売拠点



● 生産拠点
● 販売拠点

2016年3月期の決算概要

取締役社長 二ノ宮秀明

決算の概況

市場環境

世界経済は、米国・欧州などの先進国を中心に緩やかな回復基調を維持しているが、中国経済の減速や新興国・資源国の成長鈍化が世界経済の先行き不透明感を強めている。日本においては、円安と原油安の定着等により、設備投資、雇用に改善が見られる等、景気の回復傾向は継続していたが、年度後半は円高や金融市場の不安定な動き、さらには中国・アジア経済の弱さの影響により回復が鈍化している。

当社連結業績の概要

国内では、主力製品であるリーチ型バッテリーフォークリフトのフルモデルチェンジ、ディーゼルエンジン第4次排出ガス規制対応エンジンフォークリフトの投入等、販売・サービスに注力した。海外では、中国等新興国の販売が低調であるものの、米国では好調に推移した。また、利益面では、原価低減、品質改善に努めると共に、グローバルでの最適ソーシングを実施。

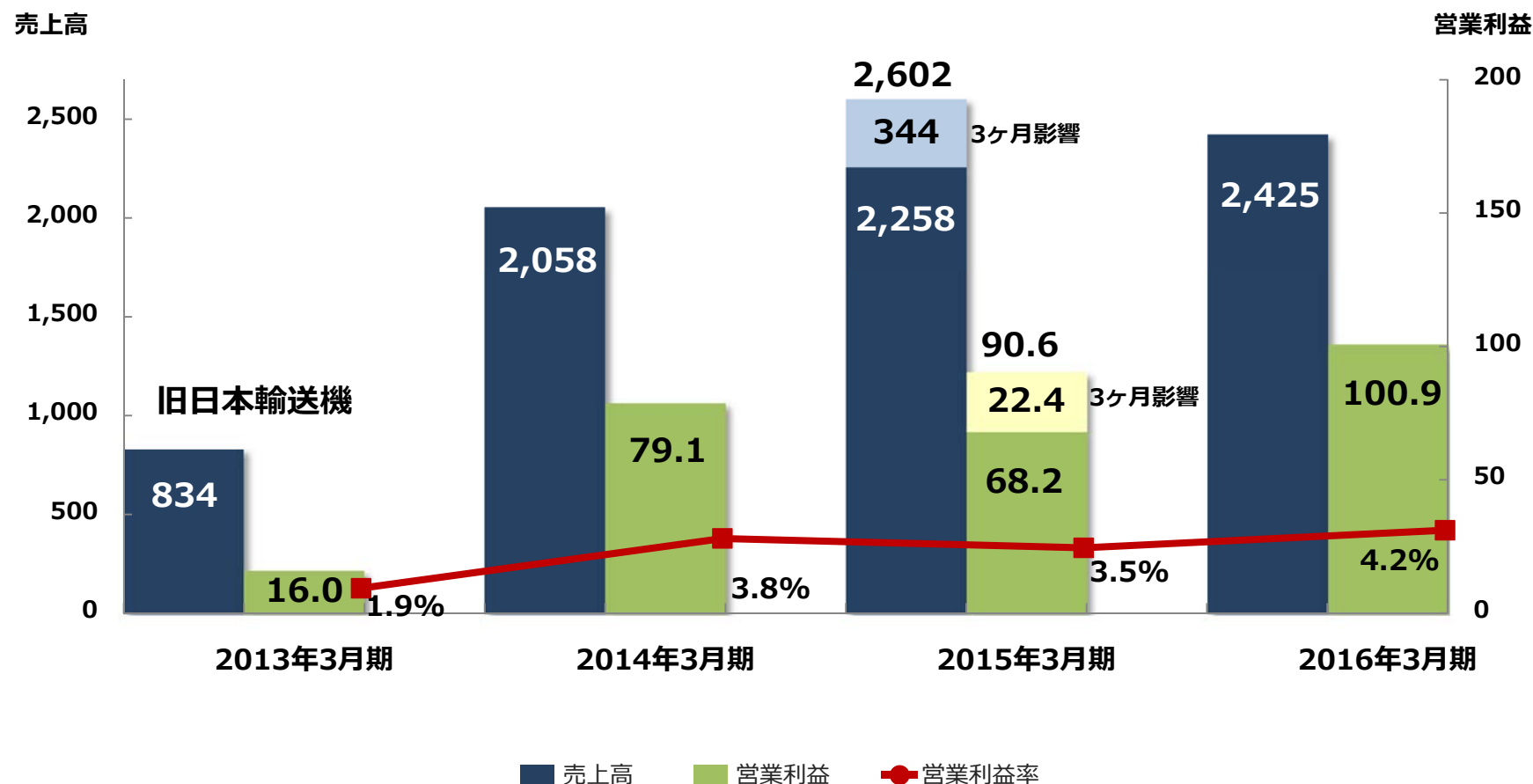
売上高：2,425億1千9百万円 前年同期比※ 166億9千4百万円（7.4%増）
営業利益：100億8千6百万円 前年同期比※ 32億6千2百万円（47.8%増）

※前年同期比は、決算期統一影響除外後の12ヶ月ベースの業績と比較（2015年3月期連結累計期間は、決算期変更の経過期間であったことから、当社及び従前の決算日が3月末日の連結子会社は12ヶ月間、決算日が12月末日の連結子会社は15ヶ月間を連結対象期間とした変則的な決算となっています）

1. 業績の推移

(単位：億円)

ニチユ三菱フォークリフト



2015年3月期連結累計期間は、決算期変更の経過期間であったことから、当社及び従前の決算日が3月末日の連結子会社は12ヶ月間、決算日が12月末日の連結子会社は15ヶ月間を連結対象期間とした、変則的な決算となっています。

2. 連結財務諸表の概要

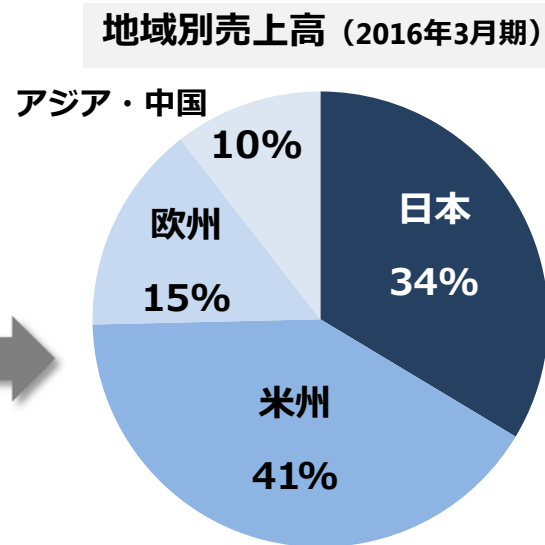
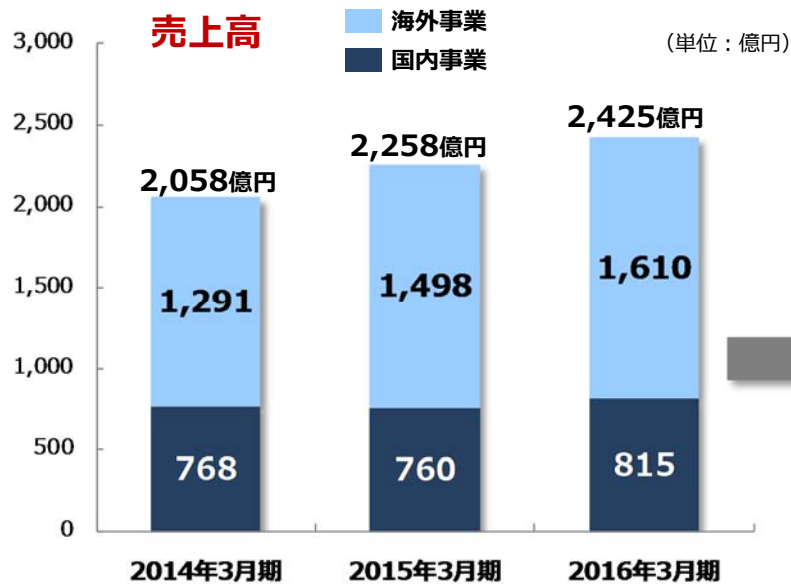
(単位：億円)

項 目	2015年3月期		2016年3月期	前年同期比増減 (決算期統一影響を除く)	
		決算期統一影響を除く			
売上高	2,602	2,258	2,425	167	+ 7.4%
営業利益 (営業利益率)	90.6 (3.5%)	68.2 (3.2%)	100.9 (4.2%)	32.6	+ 47.8%
経常利益 (経常利益率)	89.6 (3.4%)	70.0 (3.1%)	96.0 (4.0%)	26.0	+ 37.1%
当期純利益 (当期純利益率)	44.8 (1.7%)	32.8 (1.5%)	47.1 (1.9%)	14.3	+ 43.6%

項 目	2015年3月期	2016年3月期	前年同期比増減	
総資産	1,629	1,922	293	18.0%
総負債	1,047	1,340	292	27.9%
純資産	581	582	1	0.2%

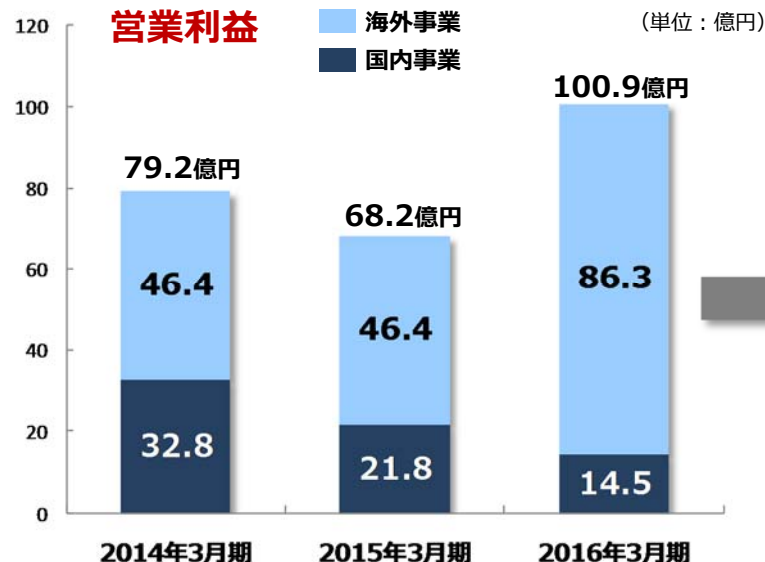
※2015年3月期連結累計期間は、決算期変更の経過期間であったことから、当社及び従前の決算日が3月末日の連結子会社は12ヶ月間、決算日が12月末日の連結子会社は15ヶ月間を連結対象期間とした、変則的な決算となっています。

3. セグメント別業績

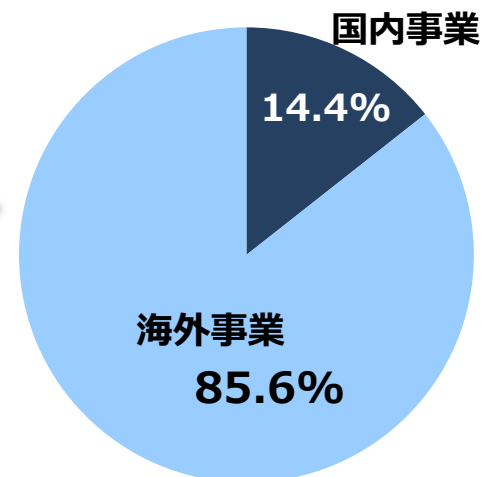


国内事業セグメントは、バッテリーフォークリフトの需要が前年比で拡大したことに加え、物流システムが販売を伸ばし、増収

海外事業セグメントは、中国、アジアが市況の悪化で落ち込んだものの、米国市場の好調、欧州市場の回復、円安による換算差が寄与し、大幅増収



セグメント別営業利益 (2016年3月期)



国内事業セグメントは、大型エンジンフォークリフト生産の海外移管やモデルチェンジ開発改良費増が響き、減益

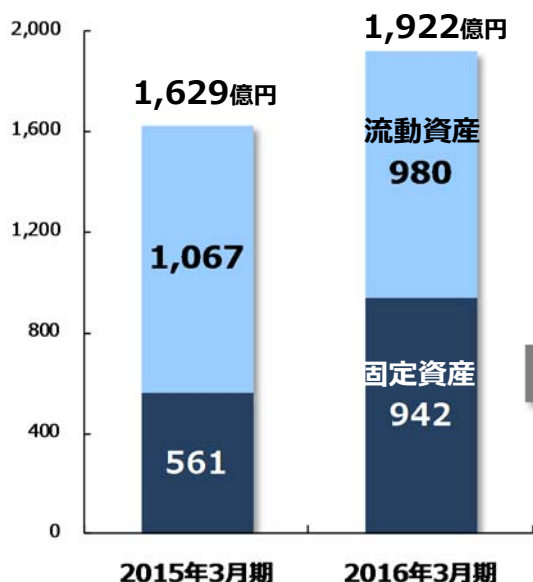
海外事業セグメントは、北米が好調であったことに加え、欧州事業の構造改革による赤字大幅削減、円安効果が寄与したことで、大幅増益

※2015年3月期実績は決算期統一影響（2014年1-3月）を控除しています

4. 連結貸借対照表

(単位：億円)

資
産

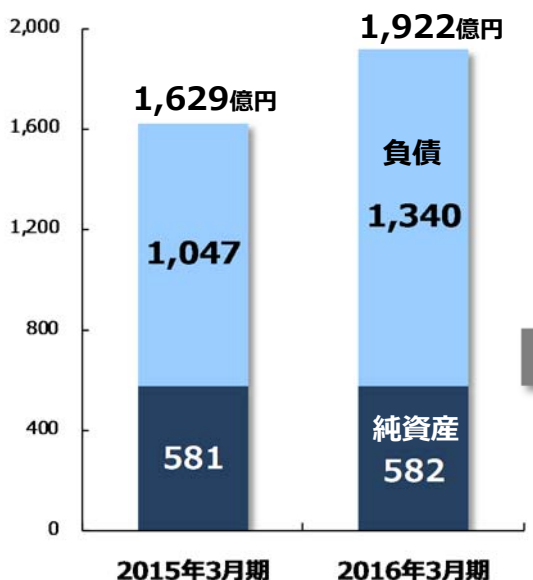


資産
+ 293億円 増
主な増減

項 目	2015年3月期	2016年3月期	増減
流動資産	1,067	980	▲87
(有形・無形固定資産)	461	447	▲14
(投資その他資産)	101	495	394
固定資産計	561	942	380
資産合計	1,629	1,922	293

運転資本適正化で在庫の削減(▲83億円)を進めた一方、ユニキャリア社買収により関連会社株式が増加

負
債
／
純
資
産



負債
+ 292億円 増
純資産
+ 1億円 増
主な増減

項 目	2015年3月期	2016年3月期	増減
流動負債	875	1,197	322
固定負債	173	143	▲30
負債合計	1,047	1,340	292
純資産合計	581	582	1
負債・純資産合計	1,629	1,922	293

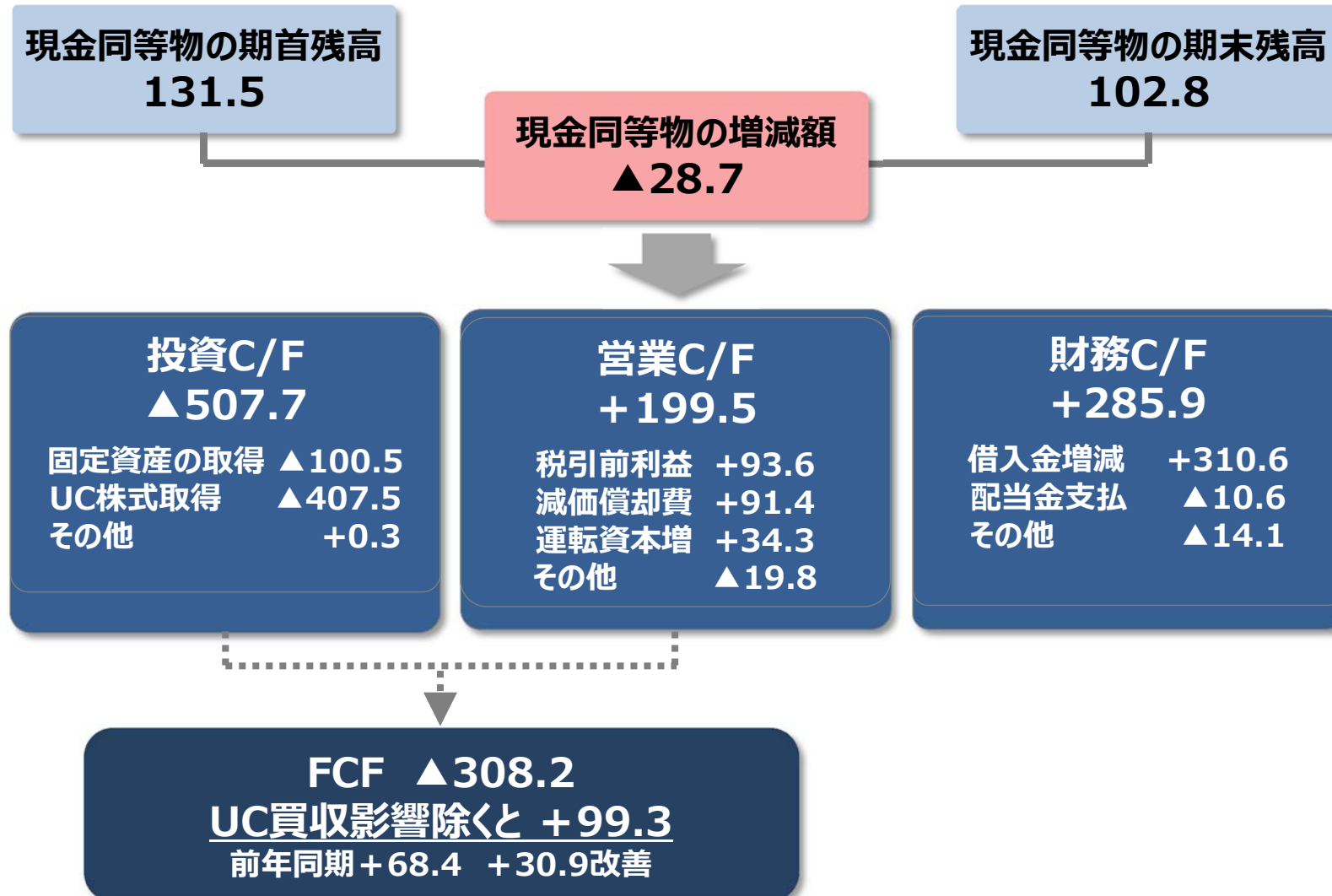
海外子会社の借入金が減少した一方、ユニキャリア社買収資金を短期借入金で賄ったことで、流動負債が大幅に増加

5. 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：億円)

FCFは前年度 +68.4億円から +30.9億円改善 (UC買収影響除く)

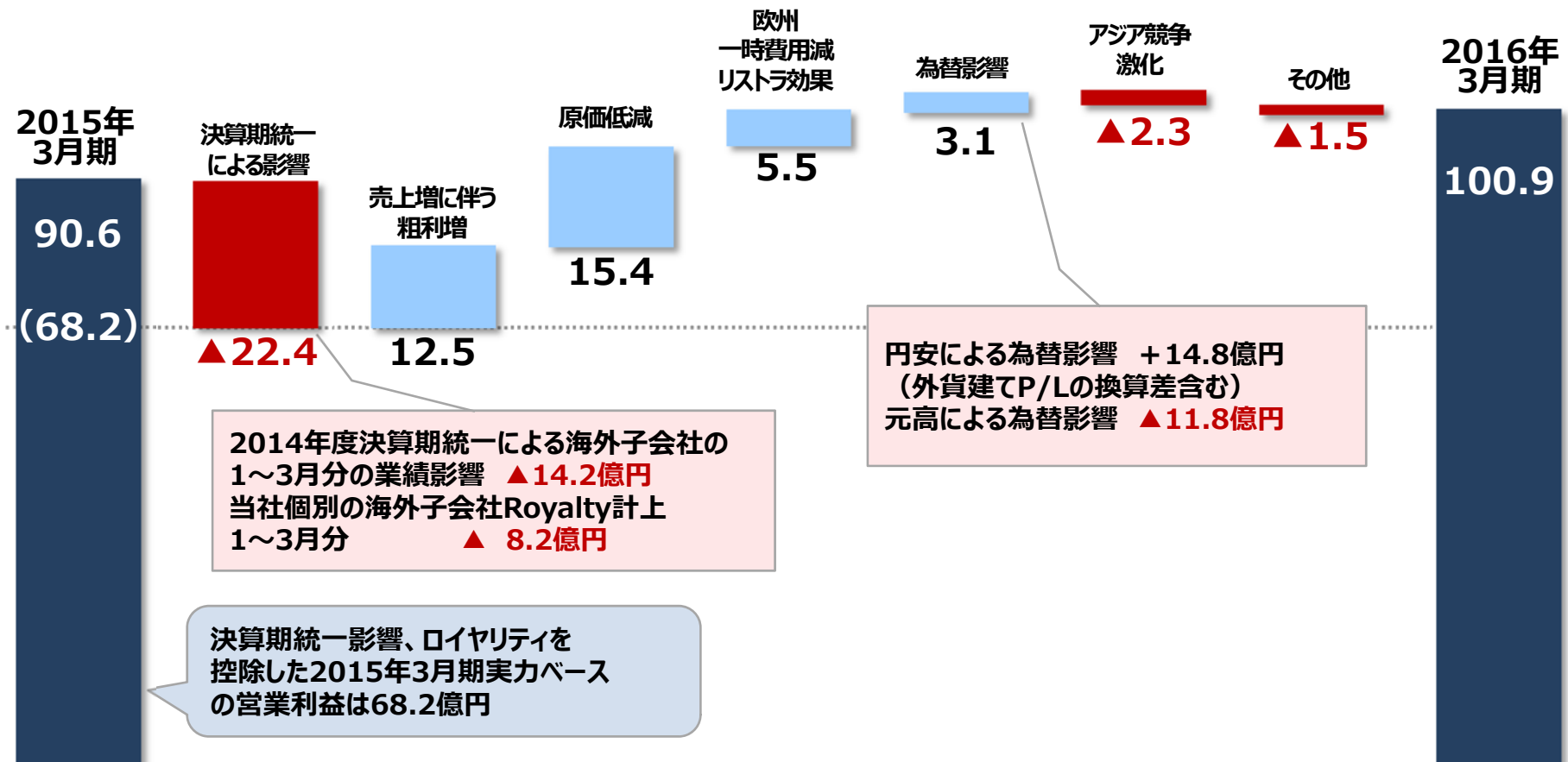
※前年同期は海外子会社の決算期を統一したことで、2014年1-3月の業績が加算されており、実質は大幅改善



6. 2016年3月期 連結営業利益（実績）増減要因

単位：億円

北米・欧州での売上増加、収益改善および円安効果が寄与し、決算期統一の影響を控除した実力ベースの比較では前年同期比148%の増益を確保



7. 主な経営指標

項目	指標	算式	2015年3月期 (3ヶ月影響除く)	2016年3月期	コメント
総合	総資本利益率 (ROA)	$\frac{\text{当期純利益}}{\text{総資本}}$	2.4%	2.7%	前年同期は決算期統一の影響により、海外子会社の業績が15ヶ月分加味されているため統一影響除外後の数字を表記
	自己資本利益率 (ROE)	$\frac{\text{当期純利益}}{\text{自己資本}}$	7.4%	8.4%	
収益性	売上高経常利益率	$\frac{\text{経常利益}}{\text{売上高}}$	3.4%	4.0%	同上
	売上高当期利益率	$\frac{\text{当期純利益}}{\text{売上高}}$	1.7%	1.9%	
効率性	総資本回転率	$\frac{\text{売上高}}{\text{総資本}}$	1.4回	1.4回	
	売上債権回転率	$\frac{\text{売上高}}{\text{売上債権}}$	5.6回	5.9回	
	棚卸資産回転率	$\frac{\text{売上原価}}{\text{棚卸資産}}$	3.9回	4.6回	
安全性	自己資本比率	$\frac{\text{自己資本}}{\text{総資本}}$	34.5%	29.5%	ユニキャリア買収のため404億円の借入を実施したことで大きく自己資本比率が悪化している
	D/Eレシオ	$\frac{\text{有利子負債}}{\text{株主資本}}$	0.9倍	1.3倍	
株主関連	株価収益率 (PER)	$\frac{\text{株価}}{\text{1株当たり利益}}$	18.6倍	10.4倍	2014年度末：678円 2015年度末：460円
	株価純資産倍率 (PBR)	$\frac{\text{株価}}{\text{1株当たり純資産}}$	1.3倍	0.9倍	

8. 2017年3月期通期業績見通し

(単位：億円)

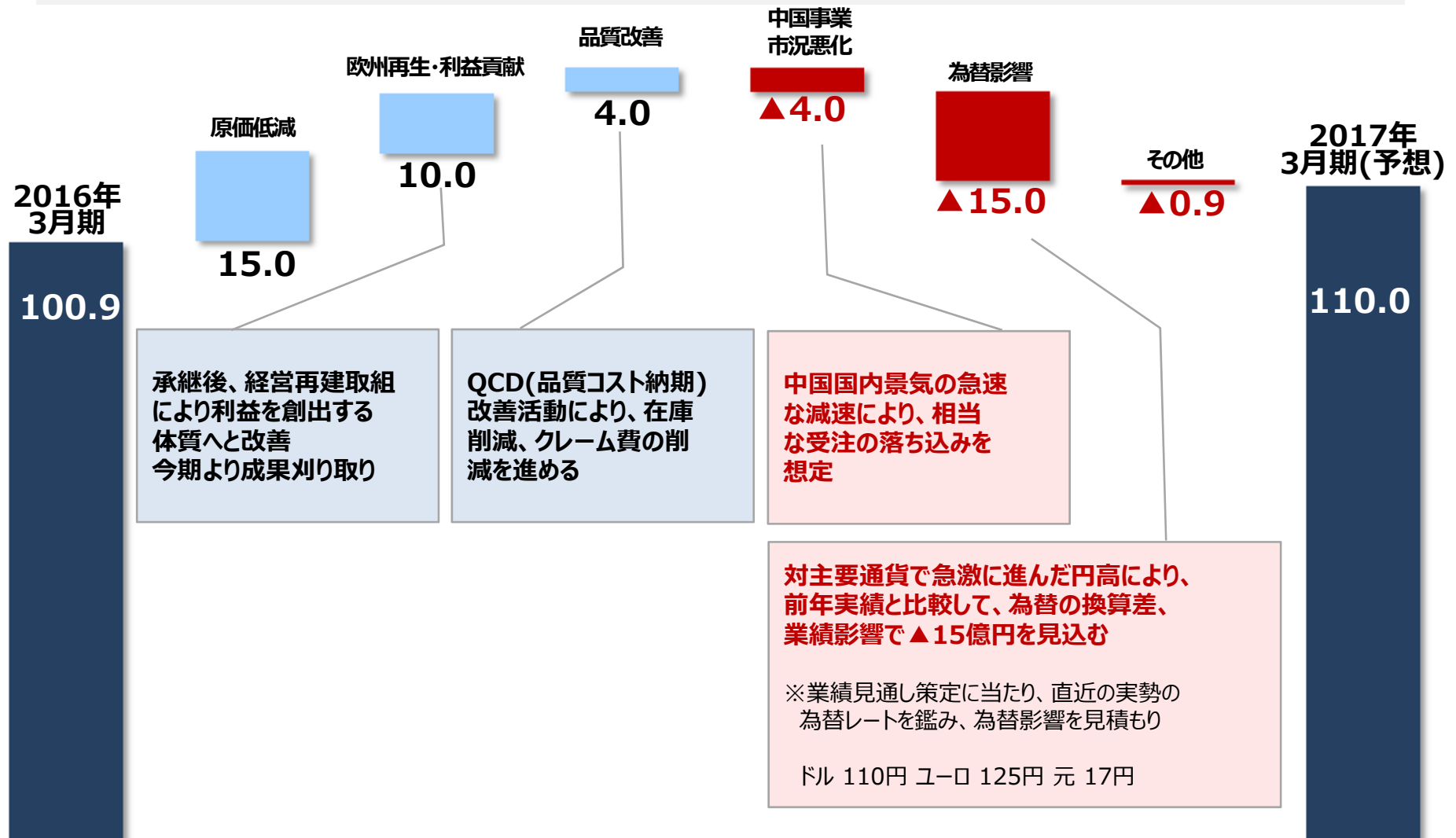
項 目	2016年3月期 (実績)	2017年3月期 (予想)
販売台数	60,752台	65,000台
売上高	2,425	2,350
営業利益 (営業利益率)	101 (4.2%)	110 (4.7%)
経常利益 (経常利益率)	96 (4.0%)	100 (4.3%)
当期純利益 (当期純利益率)	47 (1.9%)	60 (2.5%)
1株当たり配当	11円	11円

当社の基本的な考え方として、売上／利益を着実に上げ、ステークホルダーの皆様への還元を進めようという観点から、2016年3月期の1株当たり配当は、2015年3月期（10円）より**1円増配**しております。

9. 2017年3月期通期 業績見通し（増減要因）

単位：億円

円高の進行による為替環境の悪化、中国・新興国の市況悪化に伴う受注減を、徹底したコストダウン、欧州の収益改善等でカバー、前年比増益を見込む



中期経営計画（*Best Integration 2017*）の振り返りと 2016年度（116期）経営方針

取締役社長 二ノ宮秀明

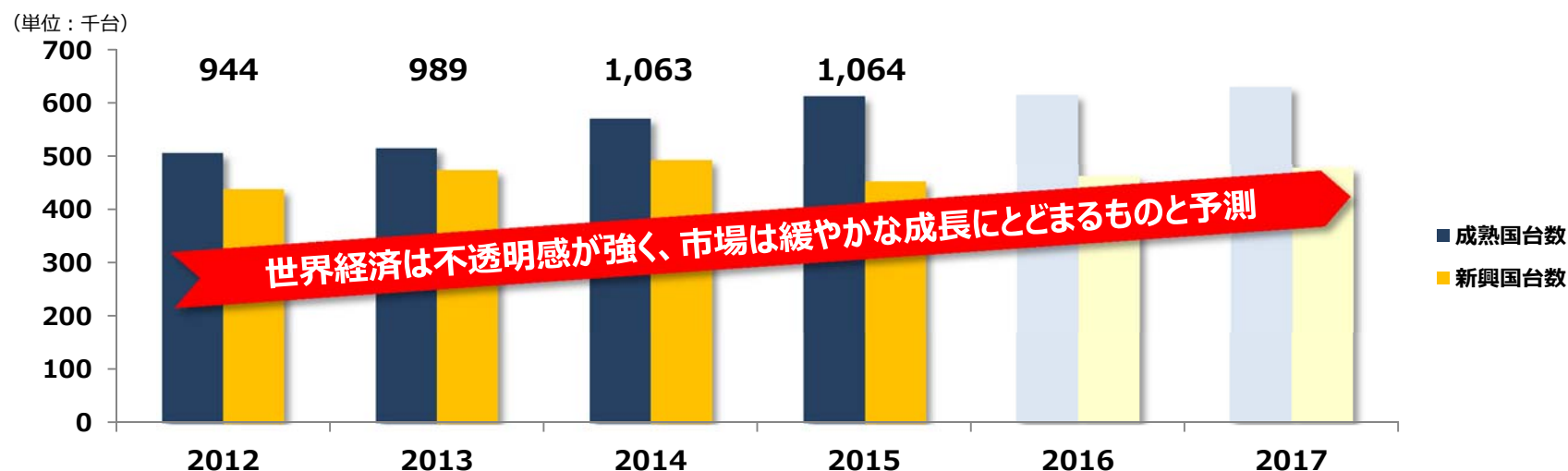
1. 市場環境

■ 経済動向

- 成熟国では米国・欧州経済は概ね堅調に推移しているものの、「英国のEU離脱論」や新興国経済の弱さなど下振れリスクを抱えており不透明感強い。また、国内経済も個人消費の低迷により、成熟国の中でもひととき低い成長にとどまるものと予測。
- 新興国では減速傾向が続いている中国において短期的には経済安定化の兆しが窺えるが先行きは楽観視できない。アジア諸国においても輸出不振を背景に力強さを欠く状況が続いているが、底堅い内需や財政面の下支えにより、横ばい基調を維持するものと予測。

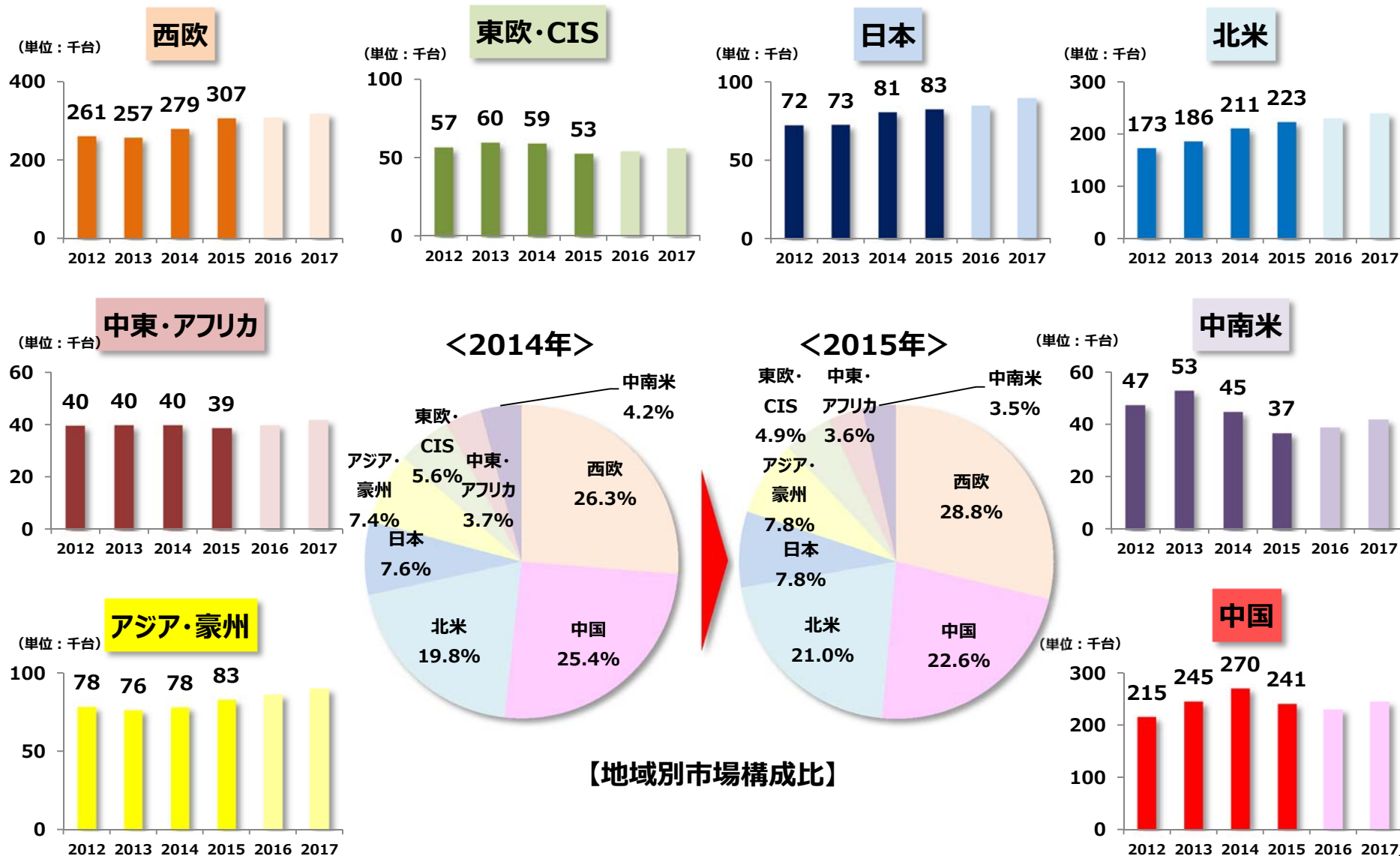
■ フォークリフト市場動向

- 2015年のフォークリフト市場は、成熟国市場では西欧・北米市場の伸長により対前年比+7.3%と好調に推移。一方、新興国市場では中国市場の縮小が影響し、対前年比▲8.2%と大きく減少。2016年の世界市場は緩やかな成長にとどまるものと予測。



1. 市場環境

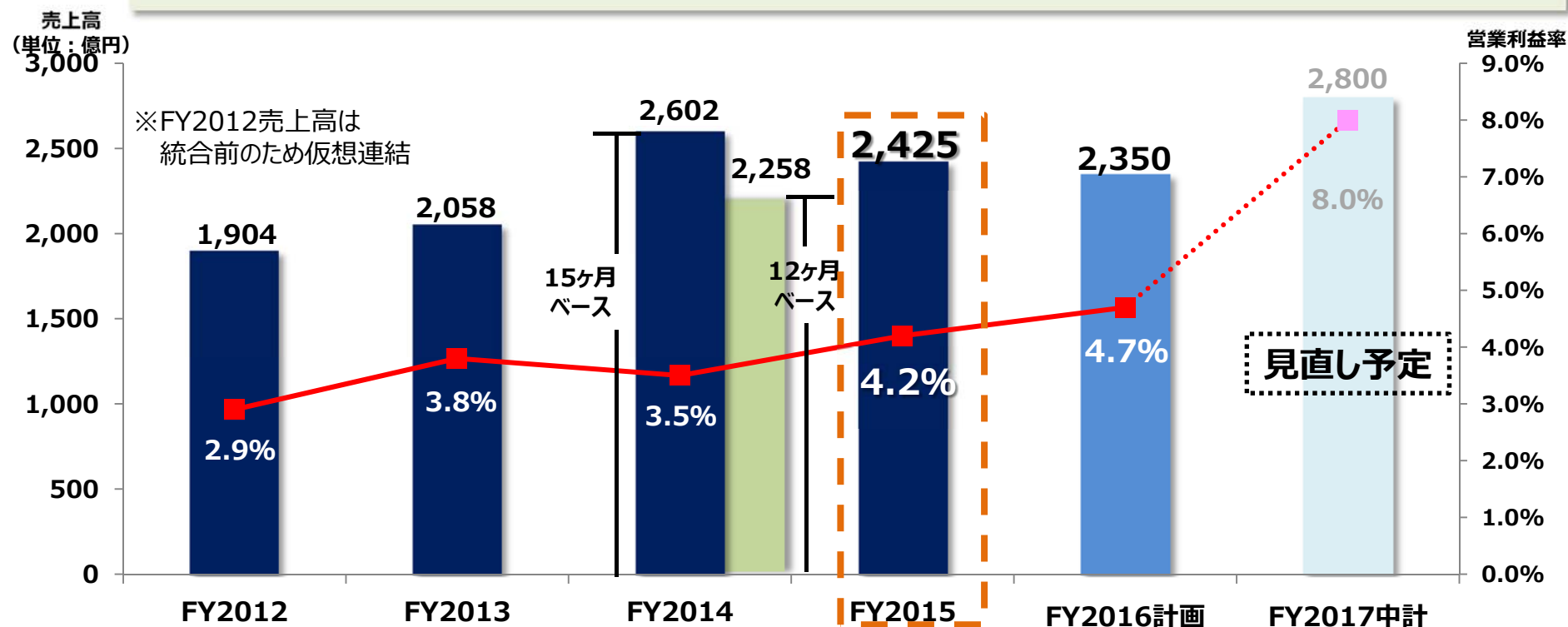
■ 地域別市場台数推移



2. 中期経営計画（*Best Integration 2017*）進捗状況

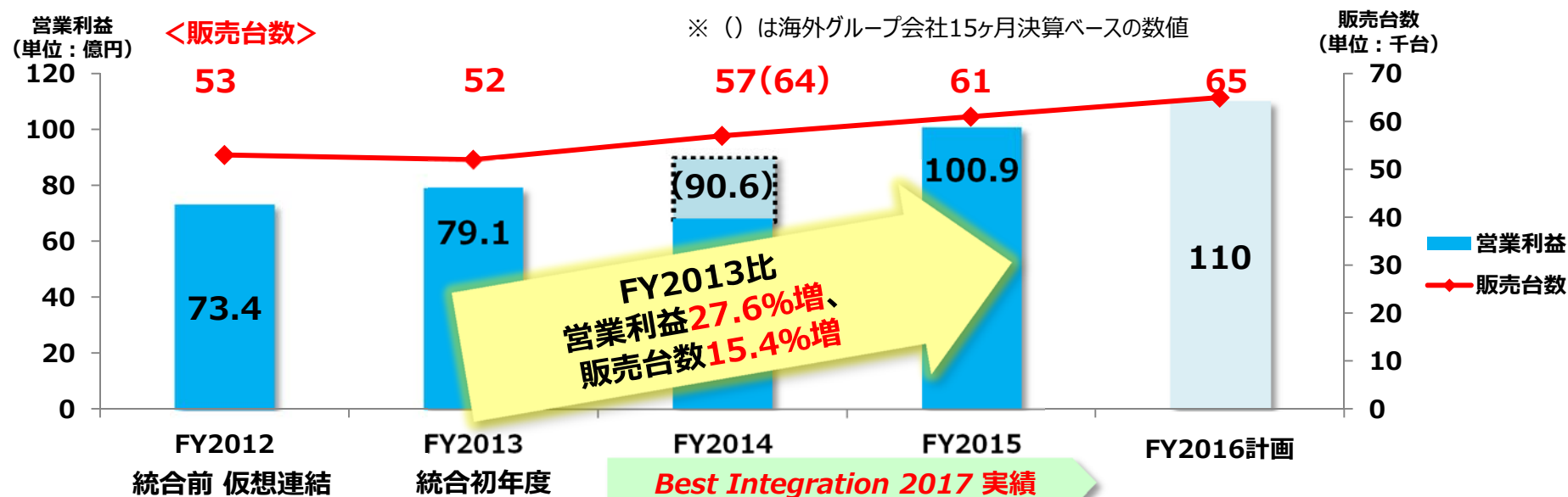
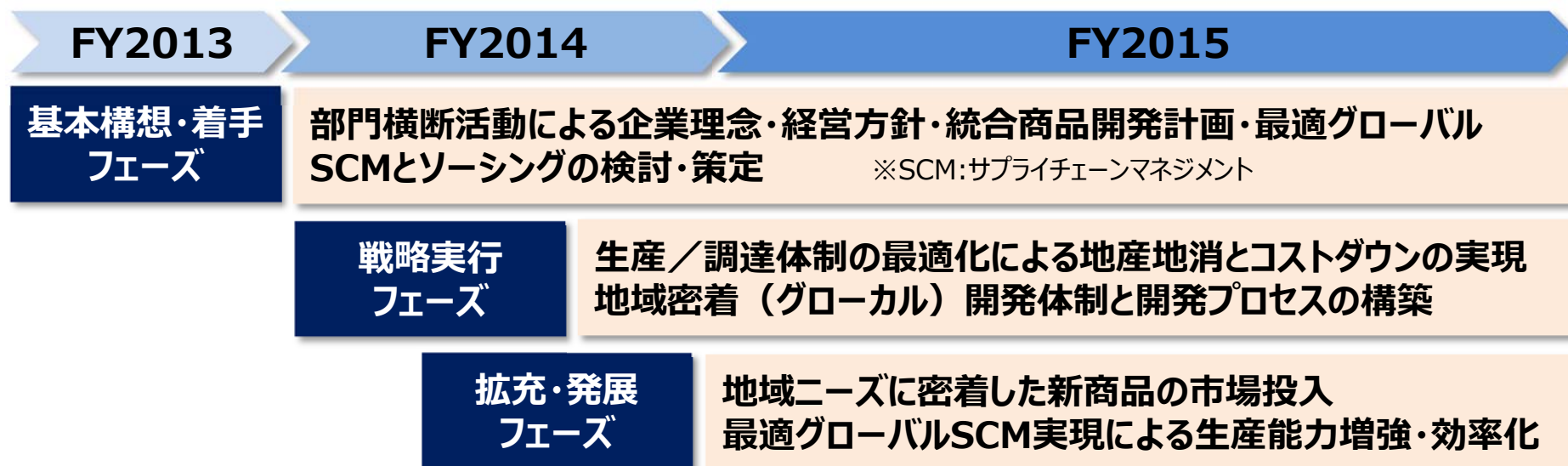
FY2015売上高は成熟国での販売増により約7.4%の増収となった（12ヶ月決算ベース）。利益面においても重点戦略である「原価低減」「品質改善」に加え、最適ソーシングの実現等により、0.7ポイントの収益改善となる。

当社グループを取り巻く外部環境の変化に加え、ユニキャリアホールディングス（株）とのシナジー創出活動の見極めのため、2016年度上期中に中期経営計画の見直しを実施予定。



3. 中期経営計画（*Best Integration 2017*）総括

■ FY2014 – FY2015総括



3. 中期経営計画（*Best Integration 2017*）総括

■ 地域ニーズに密着した新商品の投入

- GDC・LDCがフレキシブルかつ密接に技術・デザインの横通しを実施し、地域ニーズに応じた新商品を投入。
また、各地域でデザイン賞を受賞し、業界トップレベルのデザイン力を示す。
※GDC：グローバルデザインセンター ※LDC：ローカルデザインセンター

【受賞一覧】	商品名	受賞名
2015年	日本向けリーチ型フォークリフト「プラッター」	グッドデザイン賞BEST100
	欧州向けカウンターバランス型バッテリーフォークリフト「EDiA」	reddot award 2015
2016年	Roclaデザイン欧州向けリーチ型フォークリフト「SENSiA」	reddot award 2016



LDCデザイン欧州向け
リーチ型フォークリフト「SENSiA」

- 日本市場および米国市場に最終4次排気ガス規制に対応したディーゼル式エンジンフォークリフトを投入。
トップクラスの環境技術により、各地域の環境規制に対応。同時に10%～20%の燃料消費量の改善*を実現し、CO2排出の抑制に貢献。

*「10%～20%の燃料消費量の改善」
 2.0t～3.5tディーゼル車：20.4%改善
 3.5t～5.5tディーゼル車：21.5%改善
 6.0t～7.0tディーゼル車：10%～20%改善
 （いずれも国内向け当社従来車比）



日本市場向け最終4次排気ガス規制対応
ディーゼル式エンジンフォークリフト
「GRENDiA EX」(3.5t-5.5t)

3. 中期経営計画（*Best Integration 2017*）総括

■ 最適グローバルSCM実現による生産力の増強

- 中国大連工場における現地調達拡大によるコスト低減と地域密着生産体制の確立。
- 米国工場において電気車専用工場を新設し、生産能力強化を実施。また、ウェアハウス系機種／大型フォークリフト用のマスト溶接ライン・粉体塗装設備の新設により地球環境にやさしいモノづくりへの取組みを強化。
- タイ工場においてリーチ型フォークリフトの量産を開始。東南アジア市場でのウェアハウス事業拡大の基盤を構築。
同時にバッテリー式フォークリフト全般について旧三菱系販売ネットワークへの供給を拡充。
- 中型フォークリフト（10-16t）の日本国内生産開始。米国・日本のダブルソースによる最適生産体制を構築。
- グローバルSCMの改善により対前年度比18.4%の棚卸資産削減を実現。



タイ工場生産リーチ型フォークリフト
(1.0 t～2.5 t)



中国大連工場フォークリフト製造ライン



米国工場電気車製造ライン

3. 中期経営計画（*Best Integration 2017*）総括

■ アライアンスの積極推進

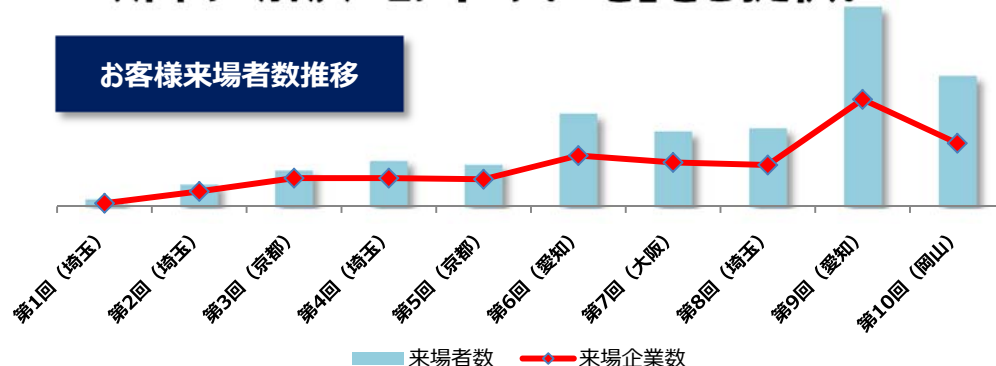
- 株式会社ダイフクとの協業により、自動倉庫の商品力およびソリューション対応力を強化。
- 米州市場において独Jungheinrich社との協業によるリーチ型フォークリフトを投入。
- ユニキャリア社株式の35%を取得。世界第3位のフォークリフトメーカーグループ形成へ。



Jungheinrich社との協業による
北米向けリーチ型フォークリフト「EOS」

■ 物流ソリューション事業の拡大

- お客様向け「物流ソリューションフェア」を開催。日常の営業活動では十分にお伝えしきれない商品やソリューションについてご紹介し、物流改善の『解決・ヒント・気づき』をご提供。



物流ソリューションフェア2016 in おかやま 会場風景

3. 中期経営計画（*Best Integration 2017*）総括

■ アジア販売統括会社の統合

- 東南アジア市場での「Nichiyu」「Mitsubishi」両ブランド力・販売力、製品補完、リソース等でシナジー効果を創出し、本市場で事業の拡大を図るべく、2016年1月1日、Nichiyu Asia社（NAS）とMNA社（旧MCFS社）のアジア販売統括会社を完全統合。

※オフィス機能の統合は2013年12月末に実施済

並行してシンガポール・マレーシア・豪州の販売ネットワークを再編。



MNA本社

■ 中国サービスネットワークの拡充

- 2015年8月、武漢ワークショップ開設により、中国主要都市のサービス網拡充が完了。収益力を強化するとともに、お客様の利便性がさらに向上。



■ 国内販売拠点の効率化

- 2009年4月、旧ニチユ販社と旧三菱重工フォークリフト販売の統合以来、全国拠点を統廃合を推進（7年間で約50拠点を統廃合）。営業体制の強化・高品質なサービス体制の構築・業務効率化を実施。



ニチユMHI近畿株式会社京都支店

4. さらなる成長への施策

■ 重点戦略

グローバル開発

- 各地域の販売戦略をサポートする地域密着型製品の開発加速
- ソリューション対応力強化のための開発推進

グローバル生産

- 最適ソーシングの追求とグローバルSCMの玉成
- 地産地消化のさらなる促進
- 戦略購買と部品共通化などによるコスト低減

本社機能の再構築と 固締りの実践

- グローバル連結経営の高度化
- 固定費抑制への取組み強化
- 納期短縮／在庫縮減によるコスト圧縮

成長戦略

- ウェアハウス事業へのリソース集中と重点投資
- アフターサービス事業のさらなる拡大
- ソリューション事業のさらなる拡充

基盤強化

- コーポレートガバナンスのさらなる強化
- 事業の高度化・複雑化に対応する人事制度構築
- IT基盤整備による経営効率化の推進

シナジーの創出

- ユニキャリア社との販売／開発／購買面等の協業
および三菱重工グループの先進・革新的な技術によるシナジー効果最大化

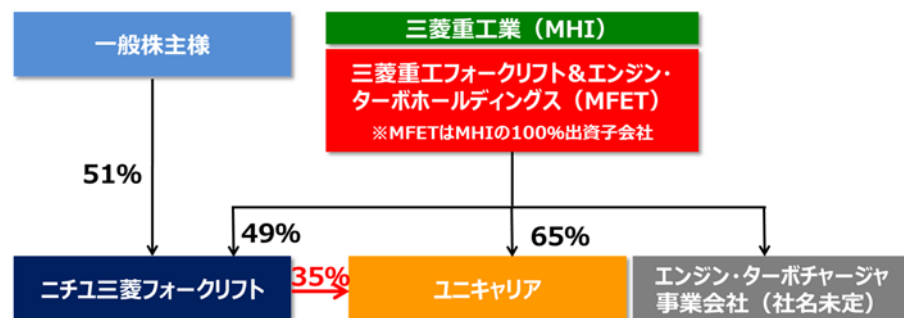
「量的成長」と「質的成長」の新たな成長戦略策定へ
(2016年度上期中)

5. ユニキャリア社との協業について

■ユニキャリア社への出資

- 2016年3月31日、当社と三菱重工業フォークリフト&エンジン・ターボホールディングス株式会社はユニキャリアホールディングス株式会社の全株式を取得。出資比率は当社35%／MFET65%で、ユニキャリア社は当社の持分法適用会社。

■体制図



ニチュ三菱&ユニキャリア

売上高 4,119 (2015年3月期単純合算)

シェア 10.6%

(単位：億円)

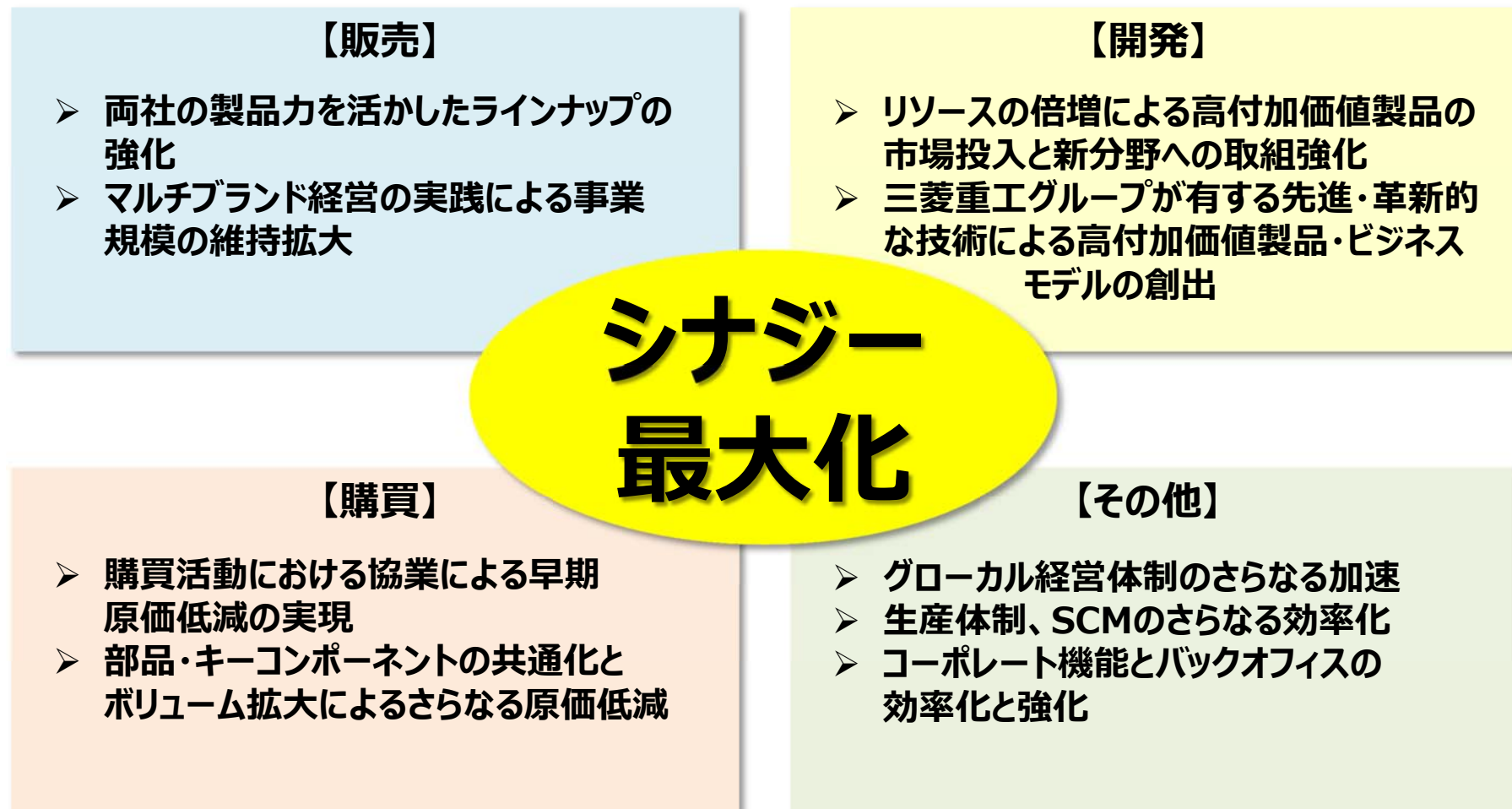
順位	会社名	国	売上高	シェア
1	豊田自動織機	日本	9,249	22.1%
2	KION	ドイツ	6,315	15.7%
3	Jungheinrich	ドイツ	3,372	8.4%
4	Hyster-Yale	米国	2,812	7.0%
5	Crown	米国	2,541	6.3%
6	ニチュ三菱 フォークリフト	日本	2,258	6.2%
7	Cargotec	フィンランド	2,007	5.0%
8	ユニキャリア	日本	1,861	4.4%
9	Manitou	フランス	1,403	3.5%
10	Anhui Heli	中国	1,096	2.7%
11	Hangcha Group	中国	992	2.5%
12	コマツ	日本	847	2.0%
13	Clark	韓国	720	1.8%
14	Doosan Corporation	韓国	576	1.4%
15	Hyundai	韓国	459	1.1%
16	Merlo	イタリア	387	1.0%

【出展】独誌DHF intralogistik「World Ranking Industrial-Trucks 2014-2015」

※海外企業については1ユーロ＝135円換算

5. ユニキャリア社との協業について

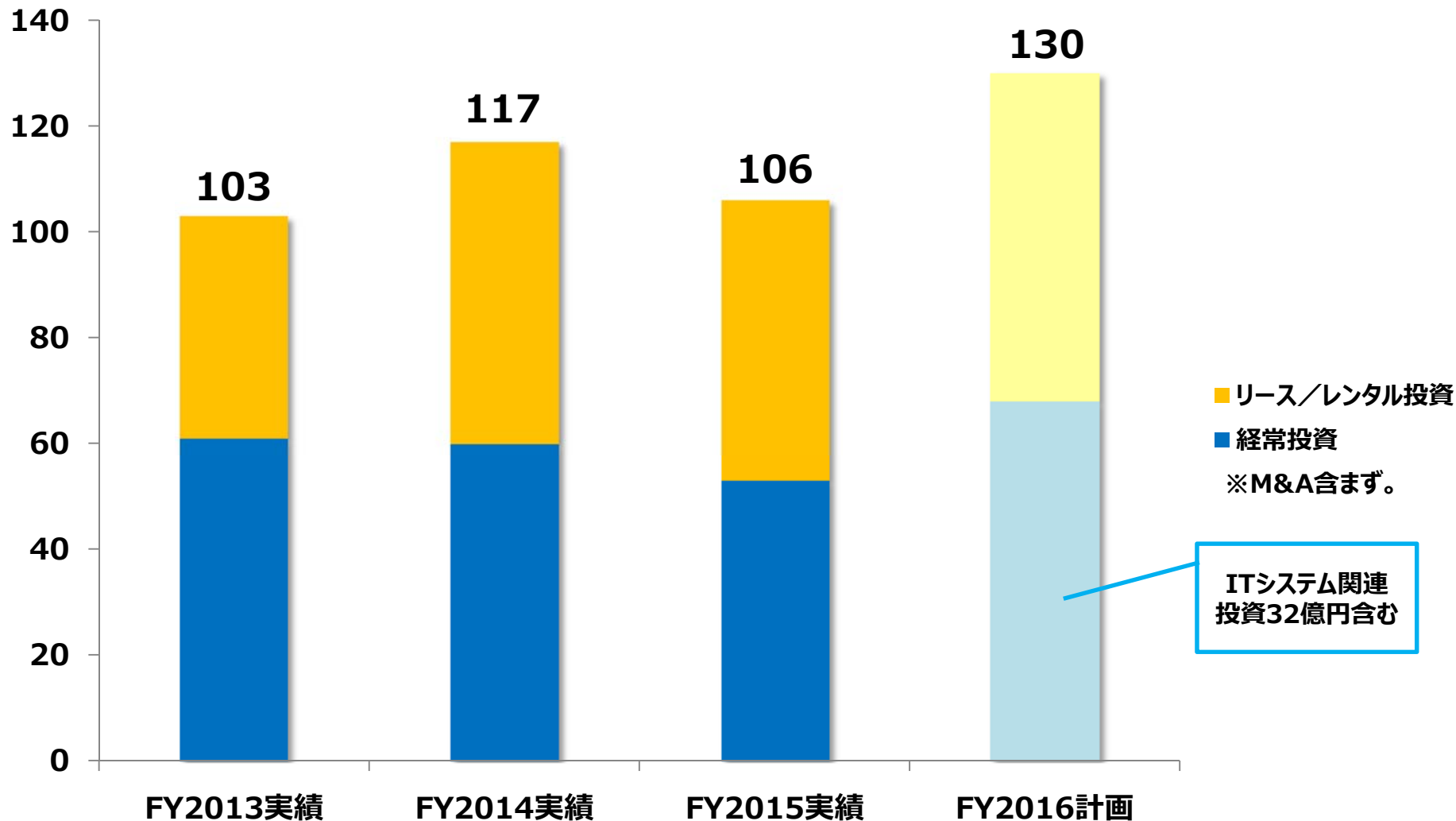
ユニキャリア社との協業と三菱重工グループの支援による早期シナジー創出で成長スピードを加速。



<参考資料>

■ 投資計画

(単位：億円)



注意事項

本資料につきましては投資家の皆様への情報提供のみを目的としたものであり、売買の勧誘を目的としたものではありません。本資料における将来予想に関する記述につきましては、目標や予測に基づいており、確約や保障を与えるものではありません。また、将来における当社の業績が、現在の当社の将来予想と異なる結果になることがある点を認識された上で、ご利用ください。また、業績等に関する記述につきましても、信頼できると思われる各種データに基づいて作成しておりますが、当社はその正確性、安全性を保証するものではありません。本資料は、投資家の皆様がいかなる目的にご利用される場合においても、ご自身のご判断と責任においてご利用されることを前提にご提示させていただくものであり、当社はいかなる場合においてもその責任は負いません。

お問い合わせ先

ニチユ三菱フォークリフト株式会社
総務課 松浦、小泉

〒617-8585

京都府長岡京市東神足2-1-1

TEL : 075-951-7171 FAX : 075-955-3797

<http://www.nmf.co.jp/>